

令和3年新人看護師研修計画

新人目標	組織の一員として学び行動する 1：看護技術がマニュアルに沿って安全・確実にできる
新人到達目標	2：看護師として常に学び患者さんとコミュニケーションを取ることができる 3：社会人・病院職員として常識をもって行動できる
企画・運営	新人看護師研修担当者：高橋・富永・児玉

	研修日	時間数	研修名	目的	講義の目的・考え	担当
（集中研修）	4月3日（金）	am	3看護部オリエンテーション	当院の看護体系について・教育体制・組織論について学び理解する	教育体制、組織について学ぶことで社会人として看護師として働く自覚を植え付ける。学ぶ姿勢と共に教わる姿勢につながればよいと考えている。組織については、働くことはチームであること、自身の行動が組織の評価になることが自覚できるようにと考えている。	副看護部長
				諸手続き		事務より
				看護連盟（ポリナビ）	看護連盟について話	横川
	4月5日（月）	am	1 社会人として働くとは（常識的な事）	社会人として働くイメージをつけ、看護師としての自覚をもつ	常識をもって働くこと、私たちの当たり前があたりまえでないことから挨拶・身なり・日ごろからのふるまいなども問われることを自覚させる。まったく学生とは違うことを自覚し、そのうえで看護師として働くことは厳しく学び続けていくこと。自分に責任を持たないものは他人に責任を持つことはできないなど伝える。	新人研修担当
			1.5 コミュニケーション研修へ仕事に当たり心得ること	相手との違いを感じ体感することで、相手に会ったコミュニケーションは何かを考える	自分や友達だけの価値観の中で20年以上生活しているため、人との違いを自覚させる必要がある。また、友人以外とのコミュニケーションを取りなれていないため、言葉使い伝えることを意識させる。	新人研修担当
		pm	1.5 記録について・看護形態について	看護記録とは何かの理解。看護の形態について理解する	日々行う記録について基本を理解することで、今後の仕事の中で活かしていくことに繋がる。また、固定チームについて当院の様子を知ること、現場に配属時のイメージを作る	守屋主任
			2 電子カルテ	電子カルテの操作の基礎を学ぶ	電子カルテの使用方法的基礎を実際に電子カルテを使用し体験する。	
	4月6日（火）	am	1 感染対策について	感染対策について学び看護師として働く自覚を持つ	看護師として仕事を始めるという自覚を感染という視点を通し体感し、決められた手順を行う必要性を学ぶ	感染認定看護師 小山主任
			1.5 個人目標/グループ目標	個人の目標、Gの目標を決めることで1年間目指す看護の視点を作る	個人・グループの目標を明確にすることで1年間頑張れる基盤を作る。互いに助け合い高めあう基礎としたい。	新人研修担当
		pm	1.5 シミュレーション/グループワーク（GW）	検査のための禁食の説明・薬などの説明場面での対応など、実際の場面を通しコミュニケーション力をつける。接することはキャッチボールであることを自覚する	実際の場面を通しコミュニケーションを意識して研修を行うことで『対人援助職はコミュニケーションが大切である』ことを意識できることで、自身のコミュニケーション力を考える機会としたい	
			2 注射器・アンプル・バイアル操作	実技をあまりしていない現状から、注射器や針、アンプル、バイアルに触れ慣れる。	実際の看護行為を行うことで看護師としての自覚をさせる。また、慣れるとできるという成功体験にもつなげたい。	
			1.5 情報管理について/グループワーク・発表	医療における情報管理の考え方について（初階編） （後日全体研修で行われる情報管理の学習会には必ず参加すること）	情報の管理については、生まれた時からタブレットに慣れている彼らにとってあまり意識に上っていないことが考えられる。何が危険であるのか。医療従事者として情報を管理するとはどのようなことなのか、意識できるようにする。	新人研修担当
	4月7日（水）	am	2 輸液ポンプ・シリンジポンプ研修	当院で実際に使用している器具を使用し正しい方法を学ぶ	当院で使用する機器を使い、看護師として働く意識をつける。機器の操作を行うことで知識の確認を行い学びにつなげる	ME
			1 輸液ポンプ・シリンジポンプ研修	手技の確認	最後に当院の手順に沿ってテストを行う。点数で評価されることになれているためあえてテストを行い、学ぶ必要性を植え付けたい。知識だけでは動けない現状を個人が自覚できることが望ましい	薄井主任 矢花主任
		pm	4 採血、注射の講義	静脈血採血実施の安全な手順（採血・注射の合併症を含めて）	清潔操作を意識して行うことで看護師として働く意識に結びつける。（数日後からはあづみ病院の看護師として周囲からみられる）	老野主任 島田主任
			採血・注射の実際	手順を理解し助言を受けながら、正確に手技を行える	手技を正しく行うことの重要性を体感する。また互いに採血を行うことで患者さんの痛みも体験し技術の向上への意欲などにつなげる	
	4月8日（金）	pm	4 筋肉注射・皮下注射・皮内注射の実際	講義後互いに実践し合う（さくら使用）	注射の実際を行うことで看護師として手技を正しく行うことの重要性を体感する。お互いに筋肉注射を行うことで患者さんの痛みも実感することで看護に活かしていくことができる。	西尾主任 小日向主任
		pm	3 シミュレーション研修（検温）	検温の場面を通し、患者さんへの看護を考える	実習でも行ってきた基本中の基本の部分を行うことで自分の知識と行動の乖離を自覚させる。できないことを自覚し学ぶことへつなげたい。	新人研修担当
	4月9日（金）	am	3 スキンケアについて	看護の基本的な行為を正確に行う	基本的な行為を正確に行うことがいかに重要かを講義を受けて学ぶことで実践の時に活かすことができる	WOCN
		pm	1.5 人工呼吸器について	基本を再確認後、人工呼吸器を操作してみる	当院で使用する呼吸器を使い、看護師として働く意識をつける。呼吸器の操作を行うことで知識の確認を行い学びにつなげる	ME
			4 ブライミングの実技	清潔操作を意識して輸液の準備を行う	清潔操作を意識して行うことで看護師として働く意識に結びつける。（1週間後からはあづみ病院の看護師として周囲からみられる）	下條主任 児玉主任

4月①	am	3	KYTについて	医療安全の視点を学ぶ	院内には危険につながる状況は多くある。医療安全の視点で危険を予知することを体感し、日常の看護の場面でも活かしていく。	杉山主任
		3	抑制について	正しい使用方法と患者の気持ちを考える	様々な理由から抑制については十分な配慮がされなければいけない。必要な正しい知識と観察や看護を知ること、抑制される患者さんの気持ちを知ること、抑制とは何であるのかを知る。	関川院長他
	pm	1	医療安全について	医療の中の安全とは。一つ一つの行動が患者さんや自分たちも守ることに繋がることを知る。	医療安全は病院全体で行うことであるが、個人が決まりを守り行動しなければ成り立たない。それは新人もベテランも同じであり、新入職員でも意識していかなければならない。	GRM
5月①	am	1.5	口腔ケア	口腔ケアの実践を学ぶ	口腔ケアは大切な看護である。正しい知識を再確認し自身の看護に取り入れていく	歯科衛生士
	am pm	4	シミュレーション研修（指示受け）	看護場面のシミュレーションを通し、自分の現状を知り学びを得る	自分の持っている知識と技術を患者さんと結びつけることは経験をする。日常の看護場面を想定し看護を展開することをシミュレーションし自身の現状を知る。他の人の対応を見ることが更なる看護の学びとする。	新人担当
	pm	2	倫理について	看護倫理を学ぶ	看護の現場では様々な患者さんや環境に接する。常に自分の看護は良いのか考えていかなければ、的外れの看護を提供してしまう。その看護の根底をつかさどる倫理の視点を身に付けることは大切な事である。	副看護部長
5月②	am	1.5	検査・輸血について	正しい知識が無ければ必要な検体が取れず結果として治療に影響を与えることになる。正しい知識を得ることで正しい行動をとれることに繋がる。	検体采取するのは看護師であり、正しい方法で採取しなければ患者さんに対してデメリットが生じてしまう。正しい知識を得ることが重要である。	臨床検査技師
		1.5	輸血のプライミング	実際に行い体験することで正しい手法を覚える	実際に行うことで自分の現状を知り正しい方法を理解することに繋がる。	新人担当
	pm	1.5	輸液について	輸液について正しい知識を身に付ける	輸液は看護行為を行う中で数多く接するためリスクにも直結しやすい。最終的な行為は看護が行うことが多い。知識が無ければ危険を回避することもできないため、輸液について正しい知識をつけていくことは必要である。	薬剤部長
			認知症について	認知症の原因疾患と病態・治療について学ぶ	高齢化率が高い当地域では入院してくる患者さんの多くは高齢者である。その中で一定数認知症の方はいる。適切なケアがその後の在宅での生活を左右するものとなる。適切なケアが行えているか自身の看護を振り返りながら、認知症についてのケアの質を高めていく。	百瀬師長
6月②	am	3	フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメントを学ぶ	シミュレーターを使い内科医よりフィジカルアセスメントを学び日常での看護に必要な知識を得る。	内科医師
	pm	3	救急時の看護	救急時の看護を学ぶ	急変は突然起きるものである。知識と技術の再確認を行うことで急変時の看護のイメージを作り必要時に備える。	花澤主任 鈴木主任
		1	中間評価	個人、グループ目標の進捗状況を確認する	目標の評価を行うことで現状を確認し、当初立てた目標に向かって何をすべきが明確にしていける事で成長につなげる	新人担当
6月①	am	4	心電図モニター装着中の看護	モニター装着中の看護の視点を学ぶ	モニターを装着している患者は多く、そのためストレスも発生する。看護の視点を学び活かすことでより患者さんのケアの質を向上させることに繋がる。	大月主任
	pm	2	心電図モニターについて	心電図モニターについて学ぶ	心電図モニターについて臨床検査技師より学び、モニターについて知識を深めることで看護の観察に活かしていく	臨床検査技師
7月	am	1	コミュニケーションについて	コミュニケーションの中の「きく」ことについて講義をうけ看護を考える	心理士より「きく」ことの大切さを学ぶ中で、自身の日頃のコミュニケーションを振り返り看護に活かしていく	新人担当
		2	病棟シミュレーション研修（急変含む）	看護場面主に急変時の対応を学ぶ	9月からの夜勤に対応するため、急変時の対応をシミュレートしておくことは大切である。急変時の看護を体験しておくことで、自身の現状を振り返り足りないところを学ぶきっかけを作る。	新人研修担当
	pm	2	認知症について	認知症の原因疾患と病態・治療について学ぶ	高齢化率が高い当地域では入院してくる患者さんの多くは高齢者である。その中で一定数認知症の方はいる。適切なケアがその後の在宅での生活を左右するものとなる。適切なケアが行えているか自身の看護を振り返りながら、認知症についてのケアの質を高めていく。	百瀬師長
		2	夜勤シャドウの振り返り			新人研修担当
8月	am	1	情報管理について	情報について適切な対応について考え、自ら行動できるように知識を得る	身近にSNSなど情報が多くまた、自身でも発信することが容易に出来る。守秘義務を課せられている立場として正しく情報を扱っている課を振り返り、誤った行動をしないようにする	金子看護師
		3	目標評価（個人・グループ目標）	自己目標とグループ目標の評価を行い、目標に対しての進捗状況を確認	現状を把握することで自己・グループの課題を見つけ行動するきっかけとする	新人担当
	pm	4	テーナについて	正しい使用方法と患者の気持ちを考える	看護の基本である行為を通し、患者さんの思いを感じ自分たちの日頃の看護を振り返りケアに活かすことができる	WOC
9月	am	3	転倒転落について	KYT・転倒転落についての視点を学ぶ	半年経過し働く中で様々な体験をさせている。それらの経験も活用し医療安全について再考する。	転倒転落WG
	pm	3	多重課題	夜勤に向けての自分の確認	日勤でも任せられることが多くなる時期。夜勤の導入もまじかであり、多重課題を行うことで自身の現状を知り課題を見つけることで学びにつなげる。	新人担当
10月	am	3	せん妄について	事例を通して認知症ケアについて学ぶ	認知症ケアについて再度事例を通して学び、日頃の看護を振り返りケアに活かしていく	金子看護師
	pm	4	看護倫理の振り返り	看護の振り返り/看護倫理について振り返り看護を考える	半年経過しての自分の看護を振り返り、より良い看護を提供するためには何が必要か考えるきっかけとする。	看護部長室
11月	am	3	KYTについて	KYTについての視点を学ぶ	半年経過し働く中で様々な体験をさせている。それらの経験も活用し医療安全について再考する。	杉山主任
	pm	4	がん看護について	癌看護について正しい知識を得る	2人に一人が癌を経験する時代に入った今、どのような状況に患者は置かれるのか考えるきっかけとし看護に活かしていく	緩和ケア認定看護師
12月	am	3	目標評価	中間評価	入職して約9か月経過した。当初立てた自分の目標について評価し現状を知り学びにつなげる。/高齢化率の高い当地域では認知症の患者さんへの対応は欠かせない。適切な看護を提供していくことが望まれる。再度認知症について学び看護に活かしていく	新人担当・新井主任
	pm	4	在宅の視点について/介護保険について	ソーシャルワーカーとケアマネより話を聞き、視点を学ぶ	入院した時から退院後の事も考えていかなければならない。そのために在宅の視点と介護保険について知り、連携の必要性を学ぶ。	SW/CM
2月	pm	4	退院支援について/訪問看護について	事例を通して退院支援・在宅生活について流れと考え方を学ぶ	退院支援をするとは何を意味するのか、何をしなければいけないのか学び、実践につなげる。	退院支援チーム/訪問看護
3月	am	2	目標の振り返り/目指す看護のGW・発表	1年間の振り返りを行い看護を考える	入職して1年経過した。自身が入職当時立てた目標の達成はできただろうか？また、グループでは達成できたか？その過程はどのような経験となってきたのかなど振り返り、自己の成長を実感し2年目の目標を明確にする。	新人担当
	pm	5	事例報告			
5月			夜勤シャドウ	夜間の患者さんの変化を見て日中との看護ケアの違いを知る		
6-7月			ローテーション研修	他の職場での看護の動きを知ることで連携の視点を養う	研修場所：救急外来・リハビリ・配属部署の外来	